

# 琉球大学海底遺跡調査

琉球大学海底遺跡調査団、今年平成 15 年最後の調査で、衛星航法により海底遺跡の主たる位置等を、「株式会社トプコン販売、福岡・沖縄営業所所長、渡口 弘志氏」、「セナー株式会社福岡営業所所長、佐伯 政司氏」、「正照有限会社主任、宮城 功氏」、「有限会社拓取締役、島袋 裕二氏」、の協力のもと測定いたしました。結果は下記の通りです。



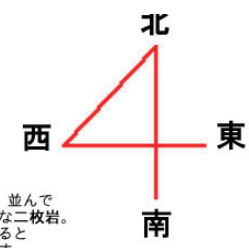
装置設置中



調査・測定中

① 螺旋階段	24° 25′ 902N	123° 00′ 731E
② メインテラス中央部	24° 25′ 899N	123° 00′ 736E
③ アッパーテラスコーナー下	24° 25′ 899N	123° 00′ 741E
④ アッパーテラス（くさび跡部分）	24° 25′ 907N	123° 00′ 739E
⑤ アッパーテラス南側かけ上がり部分テラス	24° 25′ 902N	123° 00′ 745E
⑥ アッパーテラス排水溝前テラス	24° 25′ 906N	123° 00′ 746E
⑦ 排水溝	24° 25′ 913N	123° 00′ 758E
⑧ 三角プール	24° 25′ 916N	123° 00′ 757E
⑨ 木村ガメのモニュメント	24° 25′ 920N	123° 00′ 784E
⑩ 城壁	24° 25′ 909N	123° 00′ 772E
⑪ トーテムポール	24° 25′ 900N	123° 00′ 764E
⑫ ループ道路	24° 25′ 901N	123° 00′ 751E
⑬ 二枚岩	24° 25′ 912N	123° 00′ 712E
⑭ 城門	24° 25′ 923N	123° 00′ 706E
⑮ メインテラス階段	24° 25′ 902N	123° 00′ 736E

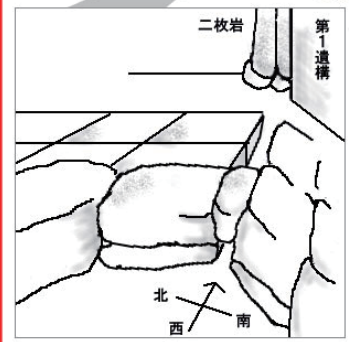
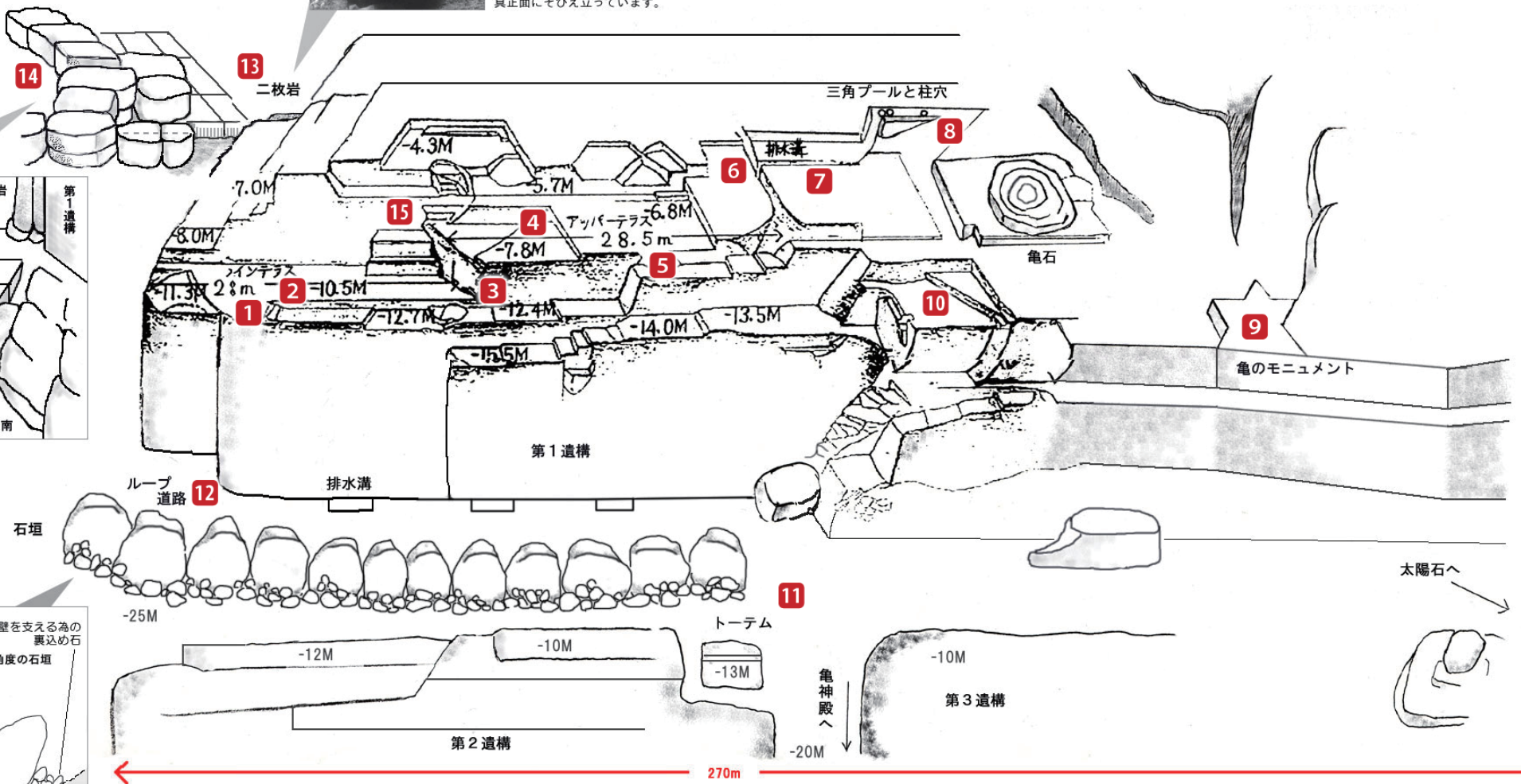
# 与那国島 海底遺跡



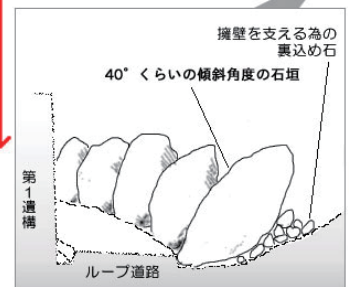
まるで大きな電話帳が2冊、並んで岩壁に立てかかっているような二枚岩。アーチ門のトンネルを抜けると真正面にそびえ立っています。

大きな岩をアーチ状に積み重ねた、アーチ門。人が一人タンクを背負って通れるほどの大きさのトンネル穴があります。

アーチ門（城門）・入口



120m



ループ道路および石垣・断面図

潮の流れ：西 → 東